

平成 28 年度 第 1 回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：平成 28 年 5 月 24 日(火) 午前 10 時～11 時 05 分

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：千坂経悦、中野正文、望月 武、内堀清治委員
長瀬教育長、事務局 5 名

欠席者：小林芳裕委員

進 行：伊達市民学習支援課長

1 開 会

課長 平成 28 年度、第 1 回目の協議会を開催します。

2 委嘱状交付

教育長より交付

3 あいさつ

教育長 新年度も 2 カ月が経過しようとしています。ふるさと館は、規模は小さいが内容的にも充実しています。毎年企画展など開催しながら、地域、外へ向かっての情報発信をしています。一番大きな課題として、地域の古文書整備があります。29 年度に向けて、近世史学芸員を募集し、人材登用していくことになりました。10 数年前も募集しましたが、応募者がありませんでした。採用があれば、ふるさと館の戦局アップになるのではと考えています。

この運営協議会も、今回観光局から初めて、内堀さんに委員として派遣していただきました。また他の委員さんもそれぞれの専門分野で一生懸命活動されています。皆さまのご意見を拝聴しながら、ふるさと館が、市民、観光客からより利用される施設となればと思いますので、よろしくお願いいたします。

4 自己紹介 (資料 P1 名簿により、自己紹介)

5 会長及び職務代理者の選任

(課長) どのように選出しましょうか。

(委員) 前は、どなたがやっていたのですか。

(事務局) 昨年度までは、会長に千坂さん、職務代理者は望月さんです。

(委員) 今回もおふたりがいらっしゃるので、ぜひお願いしたい。

(異議なし)

(課長) それでは、お二人にお願いします。

会長 千坂 経悦 さん 職務代理者 望月 武 さん

(会長) 飯山高校に勤務しています。今年飯山高校は、スーパーサイエンススクールに指定されました。科学的に人材を育成する取り組みが始まろうと

しています。探求科は、人文科学、自然科学の二つのコースに分かれています。自然科学は理系、人文科学では、生徒の視野の広がり、進路選択が出来ればと思っています。来週、フィールドワークで、自然科学は発見、人文科学は、飯山の文化財、地域として保存されている小菅などが生徒たちの研究対象となればと思っています。そういう意味では、ふるさと館の果たす役割は大きくなると思います。

6 協議事項 (進行 会長)

(1) 平成 27 年度事業報告について

(事務局) 添付資料「奥信濃文化 26 号」(ふるさと館友の会会報誌) p39～50 をもとに説明・報告

(会長) 質問等ありますか。

(委員) 友の会会報誌「奥信濃文化 26 号」を見せてもらおうと、内容はかなり専門的だが、どのように活用しているのか。中学校へ教材として配布しているのか。

(事務局) 友の会会報誌として年 2 回発行し、会員に配布しています。年会費 2,000 円に冊子代 1,000 円も含まれています。その他、希望者に 1 冊 500 円で販売しています。発行部数も少ないので、学校へは配布していません。

(委員) 入館者の推移はどうですか。

(事務局) 資料 P2 のとおりです。無料の入館者は、友の会会員、市内小中学生、昨年からはふるさと納税の方が多く含まれています。10 月入館者が多いのは 5 館の秋まつりで 1,000 人を超す方が訪れています。

(委員) 27 年の 5 月の入館者が多いのはどうしてですか。

(事務局) 春の遠足で子どもたちが来ています。

(2) 平成 28 年度事業計画について

(事務局) 資料 P3、4 にて説明

(会長) 質問等ありますか。

(委員) 情報提供ということで、蒸気機関車の機関士をやっていた方が、珍しい物を持っているので、出来れば企画展示を検討してみたらと思います。

(会長) ひな人形展と本町商店街の連携で、シャッターが閉まっている店を利用して、もっと多くのお雛様を展示企画したら、人通りが少しは多くなるのではないかと。ふるさと館だけでは無理なので、中高生のボランティアに企画運営してもらったらどうか。楽しくできるのはと思う。

(委員) ふるさと館で、これだけのイベント、企画展を開催して、年間 1 万人弱の入館者を、事務局として多いとみるのか少ないとみるのか。そのうち市内約 600 人、市外約 500 人、計 1,100 人の子どもたちの見学体験が占めている。市内は、教育委員会経由で周知すればよいが、市外はどうか。

- 子どもたちにもっと来てもらうよう、アンケートを取ったり、社会見学の検討資料を送ったりするなど来年も来てもらうよう発信しているのか。
- (事務局) 市外小学校へは、資料を送付していません。アンケートも取っていませんが、来館された先生にお聞きすると、前任校が飯山市だった先生から紹介されたり、伝統産業会館と合わせてふるさと館を選んでくれたり、またホームページを見て選んだということです。
- (委員) ロコミを期待しているようでは、入館者数を伸ばす努力をしているとはいええない。飽きられないよう、逃げられないようにしないといけない。長野市は近いので、もっと多くの小学校が来てもよいと思う。
- (課長) 今年度から、なちゅらを含めた5館を文教ゾーンとして、各館連携して、呼び込んでいきたい。昼食場所がなければ、公民館を利用して、図書館では、関係するコーナーを作るなど、連携していきたいと考えている。
- (委員) 小学校では、雨天時が困るので、そういう代替えが提示されているとありがたい。
- (委員) 中野市、長野市の小学校へふるさと館活用の資料を送付したら、社会見学の参考にしてくれると思います。
- (事務局) 戸狩セカンドスクールの農業体験では、雨天時にふるさと館を有効利用してもらっています。戸狩観光協会へもPRしています。新幹線が来て、今までふるさと学習という地元向けだったのが、よそにも発信していくことが必要となってきています。
- (委員) 信越トレイルに来たお客を、ふるさと館にも来てもらうようになればよいと思う。
- (委員) 入館者数は、開館してからどうですか。
- (事務局) 開館して11年目に入ったところですが、少しずつ増えてきて、最近は大いたい横ばいです。高橋まゆみ人形館が開館する前に、プレ企画で人形展示した時は多かったです。年間通すと、冬場の入館者が少ないです。
- (委員) 高橋まゆみ人形館もだんだんと入館者が減っていて、観光客相手は難しい。
- (委員) 出前学習で、体験だけでなく、できれば多くの市内小中学生に飯山市の文化財、伝承文化の学習をやってほしい。昨年、飯山小の子どもたちが小菅学習に来ました。寺町部会のボランティアもあるので、小学生から飯山市の伝統文化を学習すれば、興味を持つ子どもたちが増えると思う。
- (事務局) 学校を通して、子どもたちには、いろいろ利用してもらっていますが、その他集落子ども会や育成会へも、伝統文化を学習するとか、体験をするとかのPRを工夫して広げていきたいと思う。
- (委員) 公民館の字町館があるので、来年の公民館運営審議会でPRすれば、つながっていくと思う。
- (委員) ふるさと案内人は、寺町案内の他、ふるさと館へも誘導してくれるのか。

(事務局) 誘導してくださる案内人もいます。

(会長) 他にいかがですか。・・・なし

7 その他

(課長) 公民館行事ですが、小菅ということでお知らせします。今年度、新成人の希望者で、成人式の前日 8/14 に小菅奥社へ登る企画をしています。どの程度希望者があるかわかりませんが。

(事務局) 先ほど、会長よりフィールドワークの話がありましたので、「オオルリシジミ観察会」のチラシを用意しました。希少動物の保護活動をしている「北信濃の里山を保全活用する会」が主催で、文化財係が事務局です。小中学生にチラシ配布しましたが、今お話をお聞きして、ぜひ高校生にも参加してほしいと思いましたので、高校へもお願いに行きたいと考えています。里山の会会員募集チラシ、小菅パンフレット、五束の御柱のチラシ、文化財マップ、参考までにご覧ください。

8 閉会

(課長) それでは、これで第1回運営協議会を閉会とします。